



大学教育再生加速プログラム
 テーマV「卒業時における質保証の取組の強化」

社会が求める資質・能力を育む

学びとその課題

薬学・生命科学分野における学びの構造化を考える

講師プロフィール

京都大学大学院 教育学研究科 准教授 **石井 英真 氏**

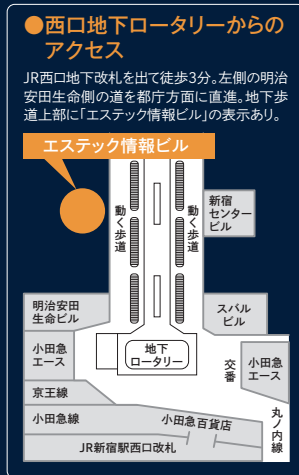
1977年兵庫県生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士後期課程修了。博士(教育学)、日本学術振興会研究員(PD)、京都大学大学院教育学研究科助教、神戸松蔭女子学院大学人間科学部専任講師を経て、2012年より現職。学校で育成すべき資質・能力の中身を構造化・モデル化し、それを実質的に実現できるカリキュラム、授業、評価、教師教育のあり方について研究している。

主な著書に、『増補版・現代アメリカにおける学力形成論の展開—スタンダードに基づくカリキュラムの設計』(単著・東信堂)、『今求められる学力と学びとは—コンピテンシー—ベースのカリキュラムの光と影』(単著・日本標準)、『授業改善8つのアクション』(編著・東洋館出版)、『授業づくりの理(ことわり)(仮題)』(単著・ミネルヴァ書房(近刊))などがある。

アクセス

● エステック情報ビル21階 会議室B

JR新宿駅西口より都庁方面に向かい、工学院大学ビルの隣、新宿センタービルの道路挟んで向かい側。徒歩5分。



2019

8/29 [木]

13:00～(受付 12:30～)

参加お申込み

※ 8/21(水)申込締め切り



こちらのURLよりお申込みください
<https://forms.gle/ahLtVmVaAoeu3hp86>

定員120名

参加無料
 (情報交換会は会費制)

主催 東京薬科大学

社会が求める資質・能力を育む学びとその課題 ～薬学・生命科学分野における学びの構造化を考える～

本学の取組や卒業生調査で得られた知見をご報告するとともに、コンピテンシー・ベースの教育、また、米国における専門職科学修士プログラムの報告を通じて、社会が求める資質・能力を育成する教育プログラムやその評価と課題を考える機会とします。

12:30～13:00 受付

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～13:10 来賓挨拶(文部科学省)

13:10～13:20 趣旨説明

13:20～14:50 基調講演 「コンピテンシー・ベースのカリキュラム改革の光と影」
石井英真氏 京都大学大学院 教育学研究科 准教授

14:50～15:00 休憩

15:00～16:00 事業報告 ①「薬学部ディプロマポリシーを基盤とした卒業コンピテンス・コンピテンシーの導入」
高木教夫 東京薬科大学 薬学部 教授
②「ルーブリック評価による卒業論文研究の質保証」
高橋勇二 東京薬科大学 生命科学部 教授

16:00～16:30 卒業生調査報告 ①「卒業論文研究の効用」
矢野真和 東京薬科大学特命教授・東京工業大学名誉教授
②「学習成果の男女差」
日下田岳史 大正大学専任講師・東京薬科大学特命准教授

16:30～16:40 休憩

16:40～17:00 話題提供・講評 「アメリカの専門職科学修士プログラムにおける動向と今後の展開
—専門職教育カリキュラムは日本の大学教育においても将来求められる人材育成に役立つか?—」
小村桐子氏 前米国・ケック大学院大学 PSM加盟審議会運営ディレクター

17:00～17:40 ディスカッション&質疑応答
石井英真氏 京都大学大学院 教育学研究科 准教授
小村桐子氏 前米国・ケック大学院大学 PSM加盟審議会運営ディレクター
矢野真和 東京薬科大学特命教授・東京工業大学名誉教授
高橋勇二 東京薬科大学 生命科学部 教授
モデレーター：大野尚仁 東京薬科大学 薬学部 教授

17:40～17:45 閉会挨拶

18:00～19:30 情報交換会(会場同ビル4階AGORA)

PSM(Professional Science Master's) = 専門職科学修士

近年、生命科学、数理科学を中心とするSTEM(Science, Technology, Engineering, and Mathematics)分野において、社会で高まる専門的知識・スキルを持った人材を修士課程で育成しようとする教育プログラムです。小村桐子氏は、PSMの全米オフィスとしての位置付けにあるケック大学院大学で、PSMプログラム質保証のディレクターを務められておりました。